

「シャルトル大聖堂のラビリンス： 世界に貢献するカトリックの象徴」

講師：リチャード・ガードナー 氏
(宗教学者・上智大学名誉教授)



日時：7.15 (土) 13:00~14:30

※講座終了後に、ラビリンス・ウォーク体験ができます。14:45~16:30
ご希望の方は講座申し込みの際に、その旨ご記入ください。(先着 20 名)

会場：仙台白百合女子大学 (講堂)

申込方法 氏名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号をご記入のうえ、ハガキ・FAXまたは、Eメールで
下記までお申込みください。定員 350 名 (先着順) 受講料 無料 申込締切 2017 年 7 月 11 日(火)

【講師プロフィール】 リチャード・ガードナー

宗教学者。上智大学名誉教授。シカゴ大学大学院神学部宗教学科より博士号。上智大学国際教養学部長、「モニュメント・ニポニカ」編集長歴任。「聖のトポス」(『岩波講座 宗教 第七巻 生命・生老病死の宇宙』)著。『宗教と宗教学のあいだ』編著。ローレン・アートレス『聖なる道を歩く：黙想と祈りのラビリンス・ウォーク』監修。セカンドハーベスト・ジャパン理事長。ヴェリディタス認定ラビリンス・ファシリテータ。1997年に米国のグレイス大聖堂でラビリンスを歩き、2009年にフランスのシャルトルでNPO ヴェリディタスによるファシリテータ研修を受講。2010年より、上智大学の授業、東京ユニオンチャーチ、カンバーランド長老キリスト教会、聖霊修道院、アジア学院、東北ヘルプ、聖イグナチオ教会などにラビリンス・ウォークを紹介し実施を手伝う。

「ラビリンス・ウォーク」とは

「ラビリンス・ウォーク」は、祈りや黙想のために、円の中に曲がりくねった一本道が描かれた「ラビリンス」を歩く活動です。一九九一年にサンフランシスコのグレイス大聖堂が導入したことで広く知られるようになりました。今では信仰や文化を越えて、世界各地の教会・学校・病院・ホスピス・高齢者施設・刑務所・公園などで、黙想や祈り・グリーフケアやスピリチュアルケア・ストレス軽減・コミュニティづくりなどのために、幼児から高齢者にまで幅広く利用されています。



ラビリンス・ファシリテータ
【武田光世 氏】

日本カウンセリング学会認定
カウンセラー。日本スピリチュアル
ケア学会会員。ヴェリディタス
認定ラビリンス・ファシリテータ。



《交通アクセス》

- ◇仙台市営地下鉄
【泉中央駅】下車 バス停⑤-2でバスに乗り換え
 - ◇宮城交通バス
「鶴が丘ニュータウン」行
【仙台白百合女子大学】下車 徒歩 5 分
(泉中央駅からのバス所要時間：約 10 分)
- ※駐車場もご利用になれます(数に限りがありますので、お早めにお越しください)

【お申込・お問合せ先】

仙台白百合女子大学 〒981-3107 仙台市泉区本町 6 番 1 号
<図書館> 電話 022-374-5090 FAX 022-374-4577 E-mail library@sendai-shirayuri.ac.jp
<大学代表> 電話 022-372-3254 FAX 022-375-4343 ホームページ http://sendai-shirayuri.ac.jp

仙台白百合女子大学カトリック研究所 主催・企画